

## 三沢市立三沢病院での実習を終えて

弘前大学医学部医学科6年 藤巻 昂太

この度、クリニカルクラークシップ II として内科で1ヶ月間実習させて頂きました。三沢病院の内科での実習を希望した理由として、まず一つには、私は将来、医師となった暁に内科領域で活躍したいと考えており、学生のうちから様々な内科的疾患の勉強をしてその臨床能力を向上させたいという点が挙げられます。また、もう一つの理由として、青森県内でも特に国際交流が盛んなこの三沢市がどのような医療体制であるのか、興味があったということもあります。

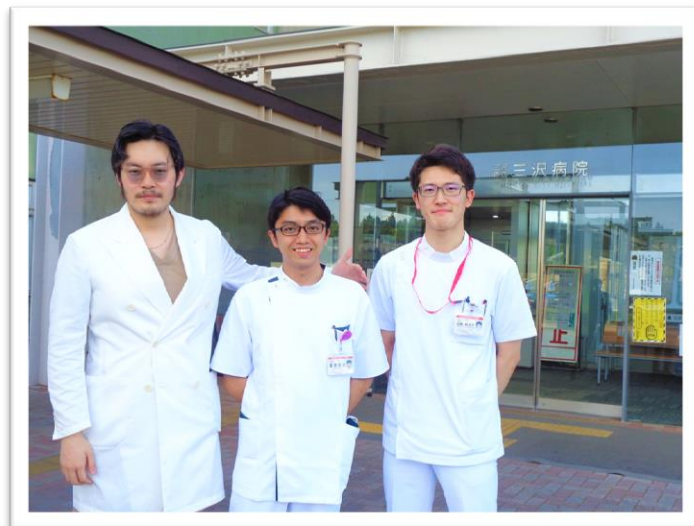
毎日の実習では、主に、外来に新患として来られる患者さんの予診を取らせていただきました。昨年からのコロナ禍の影響もあり、三沢病院に来るまでの実習では病棟や手術、外来見学が主であり、実際に患者さんと対面で接して問診をするというのは非常に新鮮な体験であり、また同時に非常に緊張する毎日でした。こちらでの実習を始めて最初の頃は、目の前にいる患者さんの訴えをどのように解釈し、それに対しどのような対処をするべきなのか、とても悩みました。教科書的な知識は分かっているつもりであっても、臨床の現場でそれをアウトプットすることの難しさを知りました。毎日の診療の終わりに

指導医の星先生が、振り返りの時間を設けてくださったことでその日できなかったこと、出来たことを自身の中で反芻し、それをまた次の日からの実習に役立てていくルーティンができ、徐々に診断学というものに慣れていくことができました。この1ヶ月の実習の間で、もちろん全ての疾患を見ることができたわけではありませんが、主要な症候の red flag を理解し、まず危険な疾患を鑑別するという内科医としての基本の姿勢を身につけることができました。これからの実習、そして研修医となってからもこの病院で学んだ経験を生かし、患者さんに還元できるように頑張ります。

日々の実習以外にも、この1ヶ月の間で、病院主催の外部講師との英会話教室に参加したり、消化器内科の先生方のご厚意で、内視鏡シミュレーターを体験させていただいたりとたくさんの貴重な経験を積むことができました。

指導医の星先生や研修医の先生方をはじめ、三沢病院の全ての関係者の皆様、そして実習に快く協力していただいた患者の皆様のおかげで、実り多き実習にすることができたと実感しております。1ヶ月間、大変お世話になりました。ありがとうございました。

私は青森県出身で大学を卒業後も青森県内で医師として働く予定です。私が医師となってさらに成長した際には、またいつか、三沢病院に戻ってきてこの度の実習の恩返しができればと考えておりますので、その際はどうぞよろしく願いいたします。



実習期間：2021. 4. 26～2021. 5. 28